

# たまかわ

1999

2  
No.390

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



「新鮮な野菜ですね」

村生産物直売所（さかしの里センター）で、カブを手にとっている方は、本村と国際友好都市提携をしている中華人民共和国郷長の陳錫楮さんです。  
友好訪問の会長として本村を訪れた際の「TMK」です。

（右ページ）



# 井戸掘り「地域振興券」 五平の「ってなあに？」

国民の皆さん、「地域振興券」を交付します。消費を伸ばして、地域経済を活性化させましょう。



このたび、全国の市町村を事業主体として、地域振興券を交付することにより



五平「お役人さん、久しぶりだナイ。『転作』のとき以来だから約1年ぶりだなあ」

役人「いらっしやい。お茶でもどうぞ」

五平「実は、今『地域振興券』という商品券みてえなものを役所で貰えるって聞いたんだけど、それは、どういうものなんだい？」

役人「今、日本は大変な不景気ですよ。品物が売れないなど消費が伸びないんですよ。そこでお上は税金を減らしたり、いろいろな対策をしたんだけど余り景気は良くならないんです」

五平「その他にはどんな人が貰えるんだい？」



役人「それが、お上は税金を減らしたり、いろいろな対策をしたんだけど余り景気は良くならないんです」



## 五平

### 「どんな人が貰えんのだい？」

五平「国民全員が貰えんのか？」

役人「貰える人と貰えない人がいます」

五平「それじゃ、貰えない人は可愛そうだな」

役人「地域振興券は、消費を伸ばすことと地域経済を活性化することが目的なんですけど、合わせて子育てをする若い親や高齢福祉年金などの受給者や所得の低い高年齢者の皆さんの経済的な負担を助けることも大きなねらいとしていてるんです」

五平「また難しくなってきたぞ」

役人「それじゃ具体的に話しましょう。五平さん、あなたはお子さんは何人いるんですか？」

五平「2人いるよ」

役人「何歳ですか？」

五平「5歳と1歳だけ」

役人「ズバリ五平さんは、『地域振興券』が貰えますよ」

五平「子供がいれば貰えんのか？」

役人「それが、お上は税金を減らしたり、いろいろな対策をしたんだけど余り景気は良くならないんです」

役人「親父さんはだめですよ。だって五平さんは15歳以上になってるでしょう」

五平「もうとっくの昔に過ぎちゃったよ」

役人「15歳以下の子供を養っている世帯の世帯主は、この券が貰えるんです」

五平「そうなのかい...。それでいくら位貰えんのだい？」

役人「1人につき2万円分です」

五平「それじゃ、俺は4万円分の地域振興券がもらえるのかい？」

役人「そうです」

五平「ヤッター。パチンコや舟券を買おうと」

役人「残念ですが、ギャンブルには使えないんですよ」

五平「(ガクッ)」

## 役人

### 「65歳以上のお年寄の方全員が該当になりません」

五平「その他にはどんな人が貰えるんだい？」

役人「高齢福祉年金や障害基礎年金などの受給者が該当します」

五平「あと65歳以上の年寄り、生活が苦しいと貰えんだバイ。生活が苦しい65歳以上って言ったらほとんどが該当するよな。よっぽどの金持ち以外は、地域振興券が貰える」

五平「弱っちゃうんですよね。65歳以上のお年寄りは誰でも貰えるなんて一言も言っていないんですけれどね。噂は恐ろしい.....」

役人「弱っちゃうんですよね。65歳以上のお年寄りは誰でも貰えるなんて一言も言っていないんですけれどね。噂は恐ろしい.....」

五平「年寄りの場合は、かなり複雑なんだな。もし、吾作のばあさんが該当になった場合は？」

役人「はい。おばあさんに2万円の地域振興券が交付されます。また、吾作さんにも3歳のお子さんがいるから2万円の地域振興券が交付されますよ」

五平「なるほど。それで...」



五平「なるほど。それで...」

## 五平

### 「この券は、どいでも使えんのかい？」

五平「さつき役人さんが言っていたけど、地域振興券はギャンブルには使えないだろう。それじゃ、地域的にはどこでも使えるのかい？」

役人「使えません。玉川村内に限定されます。また、村内でも『特定事業者』という村に登録をされている業者のところでないといけないんです」

五平「役所では、いつ頃にこの券を交付するんだい？」

役人「この券は、各市町村が独自に印刷をして交付することになっています。玉川村では、3月23日に交付するようになっています。また、地域振興券は、1枚1,000円の券ですが、使用する際に釣り銭の支払いはないので注意してください」

五平「お役人さん、忙しいとお世話様になったナイ」



玉川村では3月23日に交付する予定です。村内の店で、4月1日から9月30日までの間に使用できるんだってよ。

地域振興券のお問い合わせは  
村企画財政課企画係  
☎57-4629(直通)まで



新成人を代表して謝辞を述べる添田枝利さん

# おめでとう二十歳

## 新成人者は一一四名

村主催の平成11年成人式は、1月15日(金)の成人の日(マ)にウエラス末広で開かれました。当日は、新成人のほかに来賓として村議会議員、選挙管理委員や教育委員など関係者が多数出席して式典が行われました。

### 大人としての自覚と希望をもって

曇りがちでも穏やかな天候に恵まれたこの日、色鮮やかな振り袖姿に身を包んだ新成人の皆さんが次々と会場に到着すると成人式のムードが盛り上がりました。式典は、午前9時30分から行われ、主催者を代表して、車田村長から式辞が述べられました。新成人の名前が一人ひとり読み上げられたあと、新成人者を代表して大竹一誠さん(岩法寺)が車田村長から成人証書を受け取りました。来賓の高林議会議長と奥野選挙管理委員長から祝辞が述べられました。最後に新成人を代表して添田枝利さん(蕨生)が謝辞を述べて閉会となりました。



草野さんご夫妻と美輝くん

### 御夫婦で成人式 お子さんも祝福

北須蓋の草野旭さんと奥さんの美弥子さんは、夫婦で成人式に臨みました。草野さんご夫妻は、一昨年の12月に結婚。昨年は長男の美輝くんが生まれ、この日は美輝くんもお父さんとお母さんの成人を祝福していました。

- 新成人者が生まれた年**  
(昭和53年・42・54・41)
- 6月 宮城県沖地震が発生 (M7.5)
  - 7月 英で試験官ベビー誕生
  - 8月 日中平和友好条約調印
  - 10月 円高騰、戦後最高を記録 (1ドル=175円50銭)
  - 1月 米・中国交樹立
  - 2月 イランでイスラム革命
  - 3月 米スリーマイル原発事故
- (流行語) フィーバー  
(歌) UFO、君の瞳は10,000ポルト  
(映画) 宇宙戦艦ヤマト  
(本) 不確実性の時代



電崎 滝口友美さん

### 「ハタチの夢」

私の夢は、レースメカニックになること。就職するならば、自分の好きなものに触れたい、やりがいのあるものが良いという想いから夢は生まれました。高校を卒業してから、より多くの知識と技術を得ようと専門学校へ進学。その中で色々なことがあり、あつという間に就職の季節。レースという世界は何よりも即戦力を求めるもの、なら就職して一人前の整備士になつてからということ、某大手ディーラーの試験を受けたが失敗。しかし、それは納得のゆくものではありませんでした。な

ぜなら、女性を使う余裕はないからと断られたからです。当然、夢を挫折することも考えました。が、丁度そのころにシリーズ戦のレースに、チームスタッフとして参加する機会に恵まれました。その経験が、私には十分な勉強になりました。気がつけばまた、夢を実現させるためには、何をすべきかを考えていたのです。志すものがあるかぎり、自信を持って前進するのみだと、有名なプロレスラーも言っています。「迷わず行けよ、行けばわかるさ」と、やってやれないということは大切なことなんです。なぜなら、やらずに終わってないから、そして思いました。女だからといって人を決めつけてしまう奴には、自分が大きくなつて見返してやればいんだと。私にとってハタチという人生においての一つの節目は夢を再確認

させるといふ大切な時となりました。そして、この場を借りて両親に、一人で生活することでその苦労を学びました。そして今まで支援し、支えてくれてありがとうございました。特別な時だから今ここでありがとうと感謝します。



生 藤山和江さん

### 「20歳になつて」

気がつけばもう20歳になつていました。まだ子供だと思つていたのに20年間も生きてきました。これってどうもすくなくて、すばらしいことだと思えます。この世に生きて20年間、

間、何不自由なく無事生きてこれたのは、両親がいて家族がいたからです。現在家族と離れて生活しているかもしれないけれど、最近、両親や家族や私の周りの人達の大切さに気がつきました。反抗したり、ケンカをしたことも沢山あります。でも今思うとそれは私のことを思ってくれていたという証拠だと思えます。私の人生は、これからが本場のスタートです。1人の人間として、社会の1人として試される時がきたのです。約2年間、



南須蓋 塩沢裕史さん

### 「成人式を迎えて」

成人式を迎えるにあたって、今までの自分とは違った、また、別の自分になれそうなきがします。とは言っても特別な意味としてではなく、人生を歩んでいくにあたって避けては通ることのできない一つの通過点としてとらえています。

成人式を機会に今までの過去を振り返つてみると、数年前、自分が考えた人生とは全く違った方向に進んでいることに驚きます。けれど、自分の通ってきた道を改めて考えて見ると、今までの人生に対して「良かった」と実感できます。また、自分は「井の中の蛙」であるということも同時に実感し、このことを念頭において、これから先、経験を積んでいきたいと思えます。そして、自分なりの考えを持ち、知識や忍耐力をつけ、自分に対しての責任を認識し、自覚を

持つて行動したいと思えます。最後に人間として笑いが絶えることなく、これからの人生を歩んでいきたいと思えます。

### 二十歳の感想文

……かくせない心を飾らない言葉で言える……



小原 石森光一さん

### 「ありがとう」

今、社会の一員・大人と認められたが、未だにその実感がわかないのが今の気持ちである。一人の大人と認められた今、何気な

く過してきた20年間を振り返ると、今まで育ててくれた両親、祖父母、兄弟や叔父・叔母の協力があつたからこそ、現在の自分がここにいることに感謝したい。いつも優しく、ときには厳しく家族のために、毎日働き自分にとっては大きな存在である父。父に怒られたときの逃げ場であり、いつも優しく明るい存在である母。小さい頃からいろいろと面倒をみてもらった祖父母。常に努力することを教えてくれる兄。いつも優しさを忘れ

ない妹。いつも元気な弟。お世話話になつている叔父・叔母。家族全員の協力が、今日に至るまでの自分を支えてきてくれたことを考えると、言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちで胸がいっぱいになる。一人の大人になつた今、社会的には大人に認められても、自分はまだ未熟であり色々学ぶことも沢山ある。一人の大人として、社会のなかで生きてゆく自覚と責任感を持つてこれからの人生を歩んでいきたいと思つた。今まで育ててくれた両親、家族全員に感謝の言葉を贈りたい。ありがとう、そして、これからよろしくお願ひします。

# ようこそ玉川村へ

# 台湾 鹿谷郷の皆さん

## 陳郷長さん初来村



レセプションで車田村長と陳郷長(左)がガッチリと握手

### 日華協議会主催で レセプションを開催 村内各施設を見学

来村した22日の夜に村日華親善友好都市提携推進協議会(車田次夫会長)主催のレセプションが母畑温泉のホテルで開かれ、村からは協議会関係者など約40名が出席しました。車田次夫会長(村長)から歓迎のあいさつが行われたあと、訪問団を代表して陳郷長があいさつに立ち

「昨年の8月に貴村を襲った豪雨で甚大なる災害に遭われましたが、復旧に携わった村民の皆様の団結と勇敢な精神に敬意を表します」と本村の豪雨災害へ対しての思いやりのことばが述べられました。また、昨年3月に本村の四辻分校の児童が鹿谷郷の小学校を訪問して、一輪車交流をしたことがきっかけで鹿谷郷の児童が熱心に一輪車のトレーニングをしていたことが話されました。

高林村議会議長の音頭で乾杯が行われ和やかな雰囲気の中で暫しの交流が行われました。今回の訪問団員のひとりとして国民大会代表(日本の国會議員に相当)の林光演さんも本村を訪れました。林さんは、過去に何度か本村を訪れており、また、本村から鹿谷郷を訪問するたびにお世話をしていたに聞いていたことから、本村には知り合いも多く、懐かしい話に花が咲いていました。翌日は、福島空港と生産物直売所、泉中学校などを見学しました。

本村と国際友好都市を締結している中華民国鹿谷郷から陳錫梧郷長(37歳)以下23名の皆さんが1月22日と23日の2日間の日程で本村を訪れました。今回、訪問された皆さんは、本村との友好都市交流関係組織の委員などの方々ですが、陳郷長さんをはじめ、ほとんどの皆さんは本村を訪れたのは初めてでした。村日華親善友好都市提携推進協議会主催によるレセプションや村内見学などで友好を深めました。



レセプションで楽しい交流(前列右から2人目が林光演さん)



泉中学校の福島空港資料館を見学

## 「家庭の日」作品コンクール

# 県最優秀賞受賞

作文で 須藤祐希君(川辺小2年)



平成10年度福島県青少年育成県民会議主催による「家庭の日」作品コンクールの作文の部(低学年)で、川辺小学校2年生の須藤祐希君が見事最優秀賞を受賞しました。

県内各地区から予選を通過した小学生作品55点の中から最優秀賞に選ばれた作品は、日常生活の中のおばあちゃんとのやり取りから教わったことを素直な気持ちで書かれています。作品は次のとおりです。

### ありがとうの気持ち

須藤祐希

「じいちゃん、おばあちゃん、ぼくがごはんをたべおわってだいどころから出ようとしたら、おばあちゃんが「ゆうちゃんまたごはんのこしたのね。」と大きなこえでおこっていました。」「だっておなかいっぱいなんだから。」ぼくはいつもとおなじことを言いました。「おばあちゃん小さいころは、食べたくても食べものがなかったんだよ。」おばあちゃんはつづけて言っていました。ぼくは、「また同じ話だ。いやだなあ。」と思いました。でも、少しの間、がまんして聞いていようと思いましたが、おばあちゃんの話は、食べものから文ぼう具の話になりました。むかしは、えんぴつはすごくみじかくなってもせつたいにすてないで、ホルダーのながいのをつけて字をかいていたこと。べんきょうづくえのかわりに、みかんばこをたいせつにつかっていたこと。みかんのかんづめは、食べたあと、えんぴつつたてや、絵の具のふでであらいにつかっていたこと。しんじられないけど、みんなほんとうの話でした。ぼくは、おばあちゃんに、「今はむかしとちがってなんでもたくさんあるから、だい

じにしないでいいんだよ。」といいました。おばあちゃんは、少しかなしいかおをしていました。よる、ぼくはしゆくだいのプリントをやっていました。まちがったので、ふでばこからけしゴムをとろうとしたら、けしゴムがありませんでした。しかたがないので、おばあちゃんのところへ行って、「けしゴムかして。」と言いました。おばあちゃんは、むかしのからばこの中から、つかいふるした小さなけしゴムをとってかしてくれました。ぼくはすごくうれしくて「ありがとうおばあちゃん。」と言いました。おばあちゃんは、やさしくわらって言いました。「ゆうちゃん、今すごくうれしかったよね。ありがとうの気持ちがあるものをたいせつにすることなんだよ。」ぼくはドキッとしました。今までけしゴムのことも、えんぴつのことも、ノートのことも、ありがたかったことがありませんでした。でも今日けしゴムがなかったときすごくおぼえました。おばあちゃんの言ったことが少しだけわかった気がしました。これからは、ありがたの気持ちをもつてものをたいせつにしたいと思いました。そして、ぼくが大きくなっておとうさんになったら、じぶんのこどもに、ものをたいせつにすることを教えてあげたいと思いました。

## 第15回村民卓球大会

### 一般は我妻由香利さん(南須釜)優勝



熱気いっぱい村民卓球大会

玉川卓球クラブ主催の第15回玉川村民卓球大会は、12月13日(日)に勤労者体育センターで行われました。大会には、小学生から一般の方、約一二〇名が出場して、競技はシングルとダブルス部門でそれぞれトーナメント方式で行われました。

- 釜・須賀川高3年)が優勝をおさめ、一昨年の大会からの三連覇を達成しました。
- 各部門の入賞者は次のとおりでした。
- (小学生の部)
  - 優勝 宗形 勝洋
  - 準優勝 秋山 裕香
  - 3位 須藤美寿々、大野 名
  - 郵便局長賞 真野目宏美、有賀智史
  - 敢闘賞 真野目瞳、小山田恵子
  - 努力賞 矢部重徳、須釜佳織
- (一般の部)
  - 優勝 シングルス
    - 優勝 我妻由香利
    - 準優勝 五十嵐 毅
    - 3位 佐久間政宏、塩澤徳之
    - 郵便局長賞 宗形美代子、大竹 仁
  - 敢闘賞 鈴木美佳、鈴木大蔵
  - 努力賞 車田純一、石沢結花
  - ダブルス
    - 優勝 塩澤徳之・五十嵐毅組
    - 準優勝 鈴木大蔵・佐久間政宏組
    - 3位 我妻由香利・我妻久美組
    - 真野目美和・瀬谷香保里組
    - 郵便局長賞 清水紳一郎・大竹 仁組
    - 敢闘賞 関根恵美・有賀和也組
    - 努力賞 大川内梢・鈴木美佳組



### 五輪塔周辺 道路整備で イメージアップ

12/28

岩法寺地区にある国重要文化財指定の石造五輪塔周辺がイメージアップしました。  
一昨年から「農村総合整備モデル事業」として五輪塔前の道路長約90メートルの改良が行われ、このたび完成しました。  
道路脇の歩道には、街路樹が植栽され、ベンチが取り付けられており、憩いの場としての機能もあります。

## トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで

### 新春を語る 村新年互礼会

1/4



村と村商工会主催の新年恒例の互礼会は、マウヴェラス末広で行われ、議会、行政、商工会関係者など約100名が出席して新春のあいさつが行われました。  
また、アトラクションでは、のど自慢チャンピオンの馬上勇さん(南須釜)の歌が披露されました。



### 鈴木さん 皆勤賞おめでとう

12/17

南須釜の鈴木長作さん(67歳)さんは村が平成元年6月から行っている「機能訓練事業」にただ一人無欠席を通しており、ボランティアから「皆勤賞」が贈られました。  
機能訓練事業は、月に1~2回開催されており、現在11名の方々がりハビリテーションを主体とした訓練を行っています。



統監を先頭に通常点検

### 出初め式

1/4

村消防団の出初め式は、午前9時から須釜小学校校庭を会場にして行われました。  
当日は、厳しい寒さの中での式となりましたが、消防団員と婦人消防隊員は、部隊編成などに機敏な動きを見せていました。  
また、統監である車田村長に観閲と通常点検でも士気旺盛なところをアピールして、本年の予防消防への意気込みを表していました。



関係者の皆さんによるテープカット

### 村特産の たらの芽を空輸

12/21

「本村特産品の『たらの芽』を北海道の皆さんへ」。玉川タラノメ生産組合とJAあぶくま石川、村が共催で福島空港貨物ターミナルで「たらの芽」初出荷のフライト出発式を行いました。  
本村産「たらの芽」の販路拡大をねらいとして、飛行機で遠く北海道への出荷に大きな夢が広がりました。

### 玉一小JRC 共同募金を社協へ

12/22



車田会長に手渡す溝井君(中央)

玉川第一小学校(水野岩雄校長)のJRC委員会委員長の溝井真人君(6年)は、玉一小の児童と職員からの共同募金を持参して、車田村社会福祉協議会長に手渡しました。なお、同校の和泉教諭が同行しました。

### 冬の風物詩

### やっちゃん小屋

1/14

正月明けの伝統行事「やっちゃん小屋」が南須釜字南宿地区と山小屋地区で行われました。  
夕方から藁で覆われた小屋の中では、子供たちが餅を焼いて食べたり甘茶を飲んだり楽しいひとときを過ごしました。  
宵の口から正月飾りをもって地元の人々が詰めかけ、午後8時頃、小屋に火が点けられると闇夜に赤い炎が浮かび上がりました。



小屋の中で餅を焼く子供たち(山小屋地区)

### 腹話術で ボランティア

1/20

南須釜字柳作の吉村忠雄さん(56歳)は、腹話術でボランティア活動を行っています。昨年の春頃からふれあいセンターや幼稚園などでお年寄りの皆さんや園児に腹話術や手品を披露して楽しんでもらっています。  
今回、泉保育所で相棒の人形「信ちゃん」との舞台上に、児童たちは大いに楽しんでいました。



出演中の吉村さんと信ちゃん

### 自衛官募集 相談員に委嘱状

12/2

自衛官募集に係わる相談に応じる自衛官募集相談員に車田武夫さん(竜崎)と神枝義二さん(北須釜)が委嘱され、委嘱状の伝達式が役場村長室で行われました。小針村助役と自衛隊福島地方連絡部募集課長の東別府二等空佐から委嘱状が手渡されました。今後2年間にわたって相談員として活動されます。  
●車田武夫 ☎57-2348  
●神枝義二 ☎58-2857

### 社明運動 ビデオ上映会

12/11



村人権擁護委員会主催による「社会を明るくする運動」ビデオ上映会がふれあいセンターで一般の方々約40名が出席して行われました。

主催者を代表して大木吉邦さんのあいさつと、法務省広報映画「少年の地図」他1本のビデオを鑑賞しました。  
そのあと保護司の佐久間安蔵さんが座長となつて座談会が行われました。



委嘱された車田さん(左から2人目)と神枝さん(左端)



～ 鹿谷郷訪問団の皆さんの本村訪問スナップから～

## ハローワーク須賀川 「須賀川公共職業安定所」が庁舎移転

〈平成11年3月1日から業務開始〉

須賀川公共職業安定所では、昨年より新庁舎の建設工事を進めてきましたが、このたび完成となり、平成11年3月1日から新庁舎での業務を開始します。



### 雇用機会均等法が変わります!

働く女性が性により差別されることなく、その能力を十分に発揮できる雇用環境を整備するとともに、働きながら安心して子供を産むことができる環境を作るため改正男女雇用機会均等法が平成11年4月1日より全面施行され、募集・採用、配置・昇進・教育訓練、福利厚生、定年・退職・解雇における女性差別がすべて禁止されます。

詳しくは、〒960-8000

21 福島市霞町1-46 労働省福島女性少年室 ☎024(536)4609までお問い合わせください。

関係の資料をお送りいたします。



### 固定資産課税台帳の縦覧

平成11年度固定資産課税台帳の縦覧を次のとおり行います。

なお、縦覧のできる方は本人か委任状をお持ちの方に限ります。

期 間 3月1日～23日 (土・日曜日は除く)

時 間 午前8時30分～午後5時

場 所 役場税務課

### 消費税・地方消費税の確定申告は 正しくお早め!!

個人事業者の方の消費税及び地方消費税の確定申告と納税は三月三十一日水までですので、正しくお早めに申告、納税して下さい。

なお、手続き等についてお分かりにならない点がありましたら、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

### 自動車の登録(抹消・変更)はお早めに

自動車税は、毎年4月1日現在の陸運支局の登録内容(所有者・住所等)により課税され、5月中旬に送付される納税通知書により、5月31日までに納めることになっております。

納付時期になりますと、当県税部に「廃車した(売った)自動車の納税通知書が届いた」「新しい住所地に納税通知書が届かない」などの問い合わせがたくさん寄せられます。

抹消、名義変更、住所変更などの手続きを3月末までに済ませておかないと、このように

自動車を「売ったとき」「買ったとき」「譲られたとき」「譲られたとき」「譲居したとき」などには、早めに登録手続きを済ませましょう。

◆自動車の登録について (いわきナンバー) いわき自動車検査登録事務所 ☎0246(27)6151

◆自動車税について 福島県中地方振興局県税部 ☎024(935)1235・1241

## 伝言板

### さるなしが果汁に



### 1本100円で新発売

村特産品のさるなしが、このたび果汁入りのドリンクとして発売されました。

さるなしのフルーティな香りと甘みを味わうことができ、サッパリとした飲み口が好評です。

玉川村産のさるなしを不二家サンヨー株式会社(伊達町)で製造し、玉川村生産物直売振興協議会が販売しています。

さるなしドリンクは、1本100円(税込み)。

現在、福島空港ビルと生産物直売所(こぶしの里)だけの販売となっておりますが、近々、村内外の小売店でも販売する予定です。

◆お問い合わせ先: 玉川村生産物直売振興協議会 ☎0247-57-4627(農政課内)

## 2月3月の健康ごよみ

- 2月
- 17日(水) 三種混合予防接種 ..... 須賀
  - 午後1時～
  - 18日(金) 三種混合予防接種 ..... 須賀
  - 午後1時30分～
  - 26日(木) 1歳児お誕生健診 ..... 須賀
  - 午後1時～
- 3月
- 10日(水) 母親教室 ..... 須賀
  - 午前9時15分
  - 股関節脱臼検診 ..... 石保
  - 午後1時30分～午後2時
  - 12日(金) 7・8カ月児健康相談 ..... 須賀
  - 午前10時

保:保健センター 須:須釜公民館  
石保:石川保健センター 受:受付時間

## 今月の納税

- 固定資産税 第4期
- 国民健康保険税 第8期
- 国民年金保険料 2月分

【納期限は2月25日(木)です。忘れずに納めましょう】

## 寄付ありがとうございます

下記の方々から、社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| ● 吉の関根光一さん   | ● 南須釜の塩沢直一さん | ● 蒜生の車田廣子さん  |
| ● 岩法寺の大竹幸久さん | ● 竜崎の小林昭一さん  | ● 山小屋の石森富夫さん |
| ● 小高の谷地光治さん  | ● 山小屋の瀧口政信さん | ● 北須釜の鈴木キヨさん |
| ● 南須釜の大野正春さん |              | (村社会福祉協議会)   |

## お誕生おめでとうございます

(12月下旬・1月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	吉田 奈穂	広之
小高	溝井 楓	秀敏
中々	小針 克斗	克美
中々	小吉 将隆	昇一
中々	岩法寺 朝野	正文
中々	岩法寺 上野	文彦
中々	近内 菜里	慎一郎
北須釜	草野 江里	和洋

## おくやみ申し上げます

(12月下旬・1月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
蒜生	車田 誠	50	廣吉
小高	谷地 トシ	63	和昭
中々	岩法寺 大	81	金昭
中々	岩法寺 小	76	和正
中々	南須釜 大	88	正ヨ
中々	北須釜 小	91	ヨ光
中々	北須釜 吉	81	富光
中々	山小屋 石	50	富政
中々	山小屋 瀧	75	信
中々	山小屋 瀧	73	

## 村のようす

(11年1月1日現在)

- 1,778戸(+1)
- 7,614人(-14)
- 3,746人(+1)
- 3,868人(-15)

## 村のようす

(11年2月1日現在)

- 1,782戸(+4)
- 7,608人(-6)
- 3,746人(±0)
- 3,862人(-6)

## 花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

十六夜の月もおぼろの野をゆけば肩を濡らせり秋雨しぐれ  
何事も計算づくめ豪雨禍に実らぬ稲も世にプラスという  
嫁ぐ日に宝となして持参せし梅園詩人の掛け軸一幅  
何もかも思うに任せぬ日なれど歌詠むことにかける残生  
立冬の暦となりつ霜解けの音のかそけき野道を通る

柳沼 ツヤ  
諏訪イセ子  
吉田 沙代  
登那木きみ

# 私のふるさと

山形県米沢市



奥野みな子さん(中)  
私のふるさと「米沢市」と言えば上杉家の城下町として有名ではないでしょうか。



特に、最近の日本は、経済的不況下にあるためか、かつて米沢藩を崩壊寸前から立ち直らせた藩主「上杉鷹山」がクローズアップされており、米国でも高い評価がされており有名だそうです。

米沢の美味しい食べ物といえば、「西の松坂、東の米沢」と言われる良質の牛肉「米沢牛」、二百年の伝統をほこる鰯料理、りんごに地酒、そして最近ではテレビでも

お馴染みの「米沢ラーメン」と盛り沢山です。特産物としては、「米沢織」と「こけし」などがあります。自然も豊かで、白布温泉や姥湯温泉など10の温泉があります。また、天元台高原スキー場や栗子スキー場など大きなスキー場もあって、冬場は多くのスキー客で賑わいます。

今月の13日、14日には、「上杉雪灯籠まつり」が行われ、無数の雪灯籠や雪ぼんぼりにあかりが灯され、辺り一面を幻想的な雰囲気させてくれます。

〔方言クイズ〕  
「米沢では、お世話になった時などに『おしよしな』と言いますが、どう言う意味でしょうか? ※先月の答え「兄ちゃん」

## シリーズ 今日の食卓 ⑩

今月のお題は

「食卓に楽しさとおいしさを」

今月は、1月24日(日)に食生活改善推進員よつばの会主催で行われた「親子料理教室」で好評だったメニューを紹介しします。料理教室の参加者は20名、7名が男の子で大変賑やかな教室でした。みんなで作る楽しさ、みんなで食べるおいしさも加わり和やかな会食となりました。

### 今月の献立 「大根葉、さつまいもごはん」

一 材 料 (4人分) ー 1人分252キロカロリーー

- 米 1.5カップ
- さつまいも 120g
- 大根葉 20g
- 塩 少々

ワンポイントアドバイス  
スキムミルク、ごまなどを加えるとよりカルシウムアップにつながります。大根葉の代わりに鉄の豊富なパセリでもOK。

ー 作 り 方 ー

- ①さつまいもは皮をむき7mm角に切り、水にさらしアクをぬく。
- ②大根葉は、茹でてみじん切りにして水気をしぼっておく。
- ③米を研ぎ、米の1割増の水の量を調整して、さつまいもを入れ、塩を少々入れる。炊飯にする。
- ④炊きあがったら、大根葉を入れ、さっくり混ぜる。



### 東京玉川会コーナー



## 心に残る 我がふるさと

### 『東京玉川会入会の歓び』

江戸川区

猪原良子さん

(須賀川市出身・南須蓋出身の猪原一美さんの妻)

玉川村、東京玉川会の皆様お元気ですか。2月は寒い時期ですので風邪など引かないようにしてください。

私は、玉川村のとなり村で狸森関谷の出身です。主人が東京玉川会に出るたびに「玉川村は大したものだ」といつも自慢顔で帰宅します。私も入会させていただき、総会に2回ほど出席させて戴きましたが、本当に主人のいう通り素晴らしい「玉川会」でした。昨年、会が設立されて10年となりましたが、10周年という長い年月の中に玉川村と東京との「つながり」というものが強く感じることができ、改めて感心をいたしました。故郷は、いつ帰っても懐かし

く心が落ち着く場所です。

東京玉川会10周年記念総会では、玉川村の新たな発展と息吹にただただ感動するばかりでした。玉川村役場に着いたときは、村長さんはじめ職員の方々のお出迎えには本当に胸がジーンとしてしまいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。思い出多き楽しい旅行をありがとうございました。

最後になりますが、玉川村の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



玉川会のメンバーと高尾山紅葉祭り(左から2番目)